令和８年第６回黒部市議会９月定例会
提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表・個人）通告要旨
■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表）

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民志創会 柴　沢　太　郎	１　今回の大雨対応・被害報告を受けて	
		(1)　深夜に発表される緊急の災害情報について、市民が確実に気付けるようにするための情報伝達手段を、行政としてどのように考えているのか見解を伺う。	防災危機管理統括監
		(2)　現在、車両が通行可能な一部アンダーパスには水深表示が設置されている。しかし、近年の豪雨の激甚化を踏まえると、改めて各アンダーパスの排水状況を点検し、大雨時に冠水が想定される箇所については追加設置を進めるべきと考えるが。	都市創造部長
		(3)　近年、災害は激甚化・頻発化している反面、少子高齢化により消防団員数は減少傾向にあり、地域防災力の強化は待ったなしの状況である。消防団の定年退職の年齢を現行の65歳から70歳へ延長することを検討すべきでないか。	市　　長
		２　本市のガバナンスと事実解明・説明責任について	
		(1)　当局が既に利用しているチャットツールを議会でも本年度導入する予定である。しかし、情報漏洩事件を受け、セキュリティ面の不安から気持ちが悪く使用に抵抗を示す議員もいる。特に前市長のパワハラに関する管理職に対するアンケート調査についての報道のあった3月５日に受けた説明内容を踏まえると、セキュリティは脆弱である可能性が否定できず、議会が利用を開始した際に、何か問題が起きないのか懸念される。そこで誰が管理者として権限を持っているのか。またどのようなセキュリティ対策が講じられているのか。議会利用時に安全性が確保出来るのか。すでに利用している当局側に説明を求めたい。	企画政策室長
		(2)　3月に発生した前市長のパワハラアンケートに関する情報漏洩問題について、黒部市議会議員政治倫理審査会の審査対象議員7名で、7月10日に弁明書を提出し、これまでの事実経過の一部を説明した。しかし、弁明書に記載した内容は全体のごく一部に過ぎず、依然として多くの不可解な点や説明のつかない疑惑が市民の間で広がっているのが現状である。アンケート内容が外部に漏れた経緯や、管理体制の不透明さをはじめ、内部のガバナンスが正常に機能していたとは到底言い難く、多くの市民の信頼を大きく損なう事態になっていることは否めない。ついては、市長として本件をどのように認識し、現在どのような見解を持っているのか、また市としてこの問題をどのように総括し、再発防止に向けてどのような責任ある対応を取る考えなのか、明確に伺いたい。	市　　長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民志創会 柴　沢　太　郎	２　本市のガバナンスと事実解明・説明責任について (3)　昨年12月、市長選の前に「何かが起きる」ことを示唆する情報が市内で流布し、さらに1月には、「神風が吹く」といった発言をする者も現れ、市民の間でその言葉に対し様々な憶測が広がった。その後、管理職アンケートの情報漏洩が発生し、結果として当時の噂が事実と結びつく形となった。この件について、市が調査を行わないため現在未解明なままである。この状況に対し、それに市民から「なぜ調査しないのか」疑問の声が上がっている。この一連の流れは一体どういうことなのか。一連の経緯を整理した報告書を作成し、議会および市民へ説明責任を果たすことが必要ではないか。	市　　長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民クラブ 野村康幸	**1　持続可能な市政運営に向けた組織改編と地域経済を支える事業者支援について**	
		(1)　今回の新設・一元化により、市民から見て「以前と比べて行政対応や政策決定のどこがどう速く、分かりやすくなったのか」を実感できる具体的な見取り図と今後の取り組み姿勢について伺う。	市長
		(2)　企画政策室及び行政改革推進課に求められる役割をどのように考えているか伺う。また、行政改革の目指すところ、今後の具体的目標の達成に向けどのように取り組むのかを伺う。	企画政策室長
		(3)　行政改革の大きな目的である「財政的余力の創出」に向け、今後数年間でどの程度の維持管理コスト削減、財産処分、民間投資誘致といった目標数値やスケジュールを見込んでいるのか伺う。また、生み出された財政的・庁内余力を、教育・福祉・子育て支援といった重点分野へどのように還元していく方針なのかについて具体的な見通しを伺う。	企画政策室長
		(4)　国の採択を条件とせず、一定の基準のもとで実際に従業員の基本給や時給の引き上げを行った市内中小企業・小規模事業者に対し、その賃上げ原資の一部を直接交付する市独自の補助金制度を新たに設ける考えについて見解を伺う。	市長
		(5)　国の補助金採択を待つのではなく、市が主導して、より迅速かつ使いやすい「黒部市型・生産性向上促進補助金」を創設し、さらに事業者の負担を軽減するため、専門家による申請伴走支援体制の強化について所見を伺う。	産業振興部長
		2　富山地方鉄道に対する本市の姿勢について	
		(1)　市民に対して客観的データや存続の意義を分かりやすく示し、行政・議会・市民が一体となってマイレール意識を高めていくための啓発活動や具体的行動計画の必要性について所見を伺う。	市長
		(2)　市民活動との連携や「各駅車座対話」を通じた市民参画型の駅・地域づくりについて、市民団体との「各駅ミーティング（車座対話）」の実施や無人駅を活用したマルシェやコミュニティカフェの設置など市民が主役となる駅拠点化を市として後押ししていく考えについて見解を伺う。	市長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民クラブ 野村康幸	**２　富山地方鉄道に対する本市の姿勢について** (3)　次世代を担う子どもたちのマイレール意識醸成と通学・学習環境支援について、通学運賃低廉化や小中学生が地鉄に乗って黒部の歴史や脱炭素を学ぶ探究学習プログラムの導入、高校生自身が地鉄の利活用・賑わい創出のアイデアを提案する「高校生まちづくりコンテスト」などを通じて若者のマイレール意識を育む施策の必要性について方針を伺う。 (4)　沿線自治体間で優先順位や財政的スタンスに明確な温度差が生じている実情がある中で、各市町村が抱える懸念に対しどう寄り添いながら、新川地域全体の利益と公平・妥当な費用分担を実現していくのか、他市町村との温度差を乗り越え、協議を円滑に進めていくための市長の具体的な合意形成戦略と覚悟を伺う。	市　長 市　長
		３　観光施策について (1)　広域自治体との連携強化と経済波及効果の拡大について、大町市をはじめとする関係自治体や事業者と連携した共同プロモーションや、広域的な二次交通ネットワークの構築等、連携していく構想について伺う。また、自治体間の連携強化には首長同士の関係強化が必要と考えますが、大町市長との面談等の考えについて伺う。 (2)　キャニオンルート一般開放に伴う地域還元と市民意識の醸成について、高価格帯ツアーの恩恵を地元市民や地域経済へ直接巡らせるための具体策、そして地元が置き去りにならない取組について所見を伺う。 (3)　欅平駅周辺の環境整備と安全確保について、本市の玄関口としての衛生管理と景観維持に向け、市として国にどのように強く働きかけについて伺う。併せて、限定されたエリア内での滞在満足度の向上策や、乗車人数抑制等の措置が本市観光産業に与える影響の分析と見通しについて伺う。	市　長 副市長 産業振興部長
		４　黒部市民病院経営強化プランの実効性と持続可能な病院経営体制の構築について (1)　他市と比較した現在の繰入金水準の妥当性の認識ついて伺う。併せて、単に赤字を埋めるための繰り入れに終わらせず、持続可能な地域医療を守るための「適切な財政支援のあり方」と、令和9年度の経常黒字化に向けた「市と病院の一体となった収支改善ロードマップ」について伺う。	病院長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民クラブ 野村康幸	**4　黒部市民病院経営強化プランの実効性と持続可能な病院経営体制の構築について**	
		(2)　手元資金激減に対する危機感と、資金ショートを絶対に回避するための「中長期的なキャッシュフロー管理策」について伺う。併せて、不測の資金ショートを避けるための一般会計からの追加投入という事態の回避について伺う。	病院事務局長
		(3)　人件費高騰と医師・看護師確保の実効性について、タスクシフト・タスクシェアの推進による時間外勤務の更なる縮減を図るとともに、将来の中核となる医師・看護師を着実に確保・定着させるための具体的な人件費管理と確保戦略について見解を伺う。	病院長
		(4)　病床再編の遅れと高度急性期機能の具体化について、経営強化プランに掲げられている「一般病床340床程度への削減・再編」および「ハイケアユニット（HCU）8～12床の設置検討」について、いつまでに完了させ、過剰病床の適正化による固定費削減と高度急性期医療への特化による質の向上をどのように両立させていくのか、明確な工程表と今後の見通しについて伺う。	病院長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
3	自民同志会 高野早苗	1　８月の豪雨災害を教訓とした「災害に強い黒部市」への取り組みについて	
		(1)　被害状況と冠水原因について 8月の豪雨による道路、住宅地、農地等の被害状況をどのように把握しているのか。また、冠水が発生した地域について、河川、水路、側溝、排水施設等の排水能力や管理状況、今回の雨量との関係も含め、原因をどのように分析しているのか、伺う。	都市創造部長
		(2)　これまでの地域要望と再発防止について 冠水・排水対策について、これまで地域住民からどのような要望や意見が寄せられ、市はどのように対応してきたのか。また、今回の被害状況や原因を踏まえ、河川、水路、側溝、排水施設等について優先順位を定め、計画的に改善していく考えについて伺う。	都市創造部長
		(3)　農地の排水対策について 今回の豪雨による水田等の農地被害をどのように把握しているのか。また、今後の豪雨に備え、農業用排水路等を含めた農地の排水対策をどのように進めるのか伺う。	産業振興部長
		(4)　防災情報等の振り返りと今後の備えについて 今回の豪雨における市民への情報発信、河川・水路の監視、避難に関する情報等について、十分であった点と改善すべき点をどのように捉えているのか。また、地域防災計画やハザードマップ等の見直しを含め、これまで経験したことのない豪雨も想定した防災・減災対策をどのように強化するのか伺う。	防災危機管理統括監
		(5)　災害時に必要な人材とボランティア体制について 災害時に重機等を扱う資格や専門的技能を持つ人材について、市はどのように把握しているのか。また、社会福祉協議会・ボランティアセンターと平時から情報を共有し、発災時に必要な人材を速やかにつなぐ仕組みをどのように考えているのか。併せて、災害ボランティア制度の周知を図り、「困ったときはお互い様」という地域の支え合いの機運を高める取組について伺う。	市民福祉部長
		(6)　豪雨災害を教訓とした「災害に強い黒部市」について 今回の豪雨を一過性の災害として終わらせず、教訓を今後の備えに生かし、同じ場所で同じ被害を繰り返さないため、今後どのように「災害に強い黒部市」をつくっていくのか、市長の所見を伺う。	市　長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
3	自民同志会 高野早苗	**２　物価高騰から市民生活と地域経済を守る取り組みについて**	
		(1)　市民生活への影響と今後の家計支援について 一人5,000円のギフトカード（バニラVisaカード）について、利用状況をどのように把握し、市民生活や地域経済への効果をどのように評価しているのか。また、物価高が今後も続いた場合、家計を直接支える追加の支援策をどのように考えているのか伺う。	企画政策室長
		(2)　影響の大きい世帯への重点的な支援について 物価高の影響は所得や家族構成等によって異なることから、低所得世帯、高齢者世帯、子育て世帯、多子世帯など、特に負担が大きい市民への重点的な支援について、どのように考えているのか伺う。	市民福祉部長
		(3)　市内中小企業・農水産業者等への支援について 原材料費、燃料費、電気料金等の上昇や価格転嫁の難しさが続く中、市内中小企業や農水産業者等の経営状況をどのように把握しているのか。また、一時的な給付にとどまらず、生産性向上、設備投資、賃上げ、人材確保等、将来につながる支援をどのように進めるのか伺う。	産業振興部長
		(4)　食料品の消費税減税と地方財源への影響について 国において食料品の消費税減税が議論される中、仮に実施された場合、地方消費税交付金等を含め、黒部市の財政にどのような影響が生じると見込んでいるのか。また、地方に減収が生じる場合、国による確実な地方財源の補塡が必要と考えるが、市の認識について伺う。	総務管理部長
		３　放課後児童クラブの持続可能な運営と子育て支援について	
		(1)　アンケート結果と現場の声を踏まえた運営について 市が実施したアンケートによる保護者の要望と、実際に運営を担う支援員等の現場の声をどのように把握し、今後の放課後児童クラブの施策や運営に反映していくのか伺う。	市民福祉部長
		(2)　支援員の確保と働き続けられる環境づくりについて 放課後児童クラブの安定した運営には、支援員の確保が欠かせない。人材確保、処遇、研修、業務負担の軽減など、支援員が安心して働き続けられる環境づくりをどのように進めるのか伺う。	市民福祉部長
		(3)　長期休業時における保護者と支援員双方の負担軽減について 夏休み等の長期休業期間は、働く保護者にとって放課後児童クラブの必要性が一層高まる一方、開所時間の長期化などにより支援員の負担も増える。特に働く保護者にとって昼食提供は重い負担になっている。現場の人員体制、衛生面、安全面等にも配慮しながら、保護者と支援員双方の負担軽減について、市としてどのような支援を検討していくのか伺う。	市民福祉部長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
3	自民同志会 高野早苗	**３　放課後児童クラブの持続可能な運営と子育て支援について** (4)　地域主体の良さを生かした持続可能な運営と将来像について 本市の放課後児童クラブは、地域が主体となり、それぞれの地域の実情に応じて運営されてきた。この地域主体の良さを生かしながら、市として一定の運営水準を確保し、各クラブだけでは対応が難しい課題を支えていくことが必要と考える。 支援員の確保や労務・会計等の事務、市全体での人材確保など、市が共通して担える部分も含め、今後の市の関与や支援のあり方をどのように考えているのか。 また、放課後児童クラブを単なる子どもの預かりの場ではなく、子どもの育ちと働く保護者を支える重要な子育て基盤として、今後どのような将来像を描いているのか伺う。	市民福祉部長
		４　黒部宇奈月キャニオンルート始動を市全体の活性化につなげる観光戦略について (1)　キャニオンルート始動の効果を市全体へ波及させる取組について 黒部宇奈月キャニオンルート始動を契機として、宇奈月温泉での宿泊をはじめ、道の駅KOKOくろべ、生地など市内各地域への周遊を促し、飲食、買い物、農林水産物等の消費につなげ、市全体へ経済効果を波及させるため、どのように取り組むのか伺う。	産業振興部長
		(2)　滞在型観光と広域連携について 「1泊から2泊、2泊から3泊」へと滞在時間を延ばす観光を実現するため、近隣自治体等との広域連携をどのように進め、魅力ある周遊・滞在型観光につなげていくのか伺う。	産業振興部長
		(3)　始動後の効果把握と次の観光戦略について キャニオンルート始動後、来訪者数や宿泊者数だけでなく、滞在時間、市内消費額、市内各地域への周遊状況など、地域経済への波及効果をどのように把握・分析するのか。また、その結果を次の観光戦略やリピーターの獲得にどのようにつなげていくのか伺う。	産業振興部長
		５　市長就任4か月を経て、今後の市政運営について (1)　限りある予算の中での政策の優先順位と今後の黒部市について 市長就任から4か月が経過し、公約の一つである学校給食費無償化についても、9月定例会に補正予算が提案された。一方、防災、子育て、教育、福祉、産業、農業、観光、インフラ整備等、市政には多くの課題がある。 限りある予算の中で、何を優先し、何を将来への投資として進めるのか。 就任4か月を振り返って感じている市政の手応えと課題、そして今後どのような黒部市をつくっていこうと考えているのか、市長の所見を伺う。	市　長

■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（個人）

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	橋　詰　真知子 (一問一答方式)	1　移動式エアコン・スポットクーラーの防災上の実効性について	
		(1)　指定緊急避難場所及び指定避難所の現状と周知、ホームページ掲載情報の更新について伺います。	防災危機管理統括監
		(2)　指定緊急避難場所及び指定避難所の空調設備の配備状況について伺います。また、空調設備がない施設や空調設備が使えない施設があるのかについてもあわせて伺います。	防災危機管理統括監
		(3)　指定緊急避難場所及び指定避難所のうち、空調設備がない施設や空調設備が使えない施設については、大規模災害時における避難所生活をどのように想定しているのか伺います。	防災危機管理統括監
		(4)　平時における移動式エアコン・スポットクーラーの使用状況について伺います。	教育部長
		(5)　平時における移動式エアコン・スポットクーラーの使用者からの声の収集と活用について伺います。	教育部長
		(6)　移動式エアコン・蓄電池の安全対策について、移動式エアコンと蓄電池への衝突や破損を防ぐための設備の保護対策、そして児童生徒の怪我や事故を防ぐための安全対策、それぞれどのように講じているのか伺います。	教育部長
		(7)　移動式エアコン、スポットクーラーの効果について、市の認識は、これまでの過去の議会での答弁と変わらず「あくまでスポット的で、空間全体を冷やすものではない。」という認識で変わりないか伺います。	防災危機管理統括監
		(8)　災害時の避難所生活の環境改善について、スポット的な冷却効果で、災害時の避難所生活の環境改善という目的を、十分に果たせると考えているのか、市の認識を伺います。	防災危機管理統括監
		(9)　災害時における移動式エアコンの機動的な運用について、市は令和8年3月の議会で、「災害発生時には、災害の内容や規模に応じた避難所の開設が必要となることから、移動式という特性を生かして機動的に運用してまいりたい」と答弁されていますが、現在も「移動式という特性を生かして機動的に運用する」という認識に変わりはないのか、伺います。	防災危機管理統括監
		(10)　災害時の円滑な使用のためには、使用時の手順や注意点なども広く周知しておく必要があると考えます。当局の考えを伺います。	防災危機管理統括監

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	橋詰 真知子 (一問一答方式)	1 移動式エアコン・スポットクーラーの防災上の実効性について	
		(11) 蓄電池での稼働時間と充電にかかる時間について、蓄電池で実際に何時間程度稼働できるのか伺います。また、充電には何時間程度必要なのか伺います。	防災危機管理統括監
		(12) 長時間の停電や長期間の避難を想定した場合の電源確保について伺います。	防災危機管理統括監
		(13) 市長は災害時の避難所生活の環境改善として、現在の設備で十分と考えているのか、それとも、現時点では一定の効果は認めつつも、これだけで十分とは言えず、今後検討する必要があると考えているのか、市長の認識を伺います。	市長
		(14) 今後の空調整備の方向性について伺います。 現在、指定緊急避難場所及び指定避難所となっている施設の中には、今後、学校再編などによって、施設のあり方が変わっていくところもあると思います。 そうした点も踏まえ、今後の避難先となる施設の空調設備の方向性について、どのように考えているのか伺います。	市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	成川正幸 (一問一答方式)	**1　富山地方鉄道（地鉄）の活用と未来像について**	
		(1)　知事の方針を本市としてどう受け止め、今後の費用負担の議論等に臨んでいくのか、黒部市としての基本的なスタンスを伺う。	市長
		(2)　市民とともに地鉄の未来を切り拓くための、トップとしての揺るぎないビジョンと覚悟を伺う。	市長
		2　激甚化する災害への備えと実践的防災について	
		(1)　大野市をはじめとする被災自治体に対し、本市としてどのような支援・対応を行っているか。また、今後の広域的な連携への備えについて市の見解を伺う。	防災危機管理統括監
		(2)　作成したハザードマップを単なる配布物（机上の空論）に終わらせず、住民一人ひとりが「どのルートで避難すべきか」を判断できる実践的な行動力へと、どう定着させていくのか、市の方針を伺う。	防災危機管理統括監
		(3)　6月議会で主な水路は「10年に一度の雨」に対応しているとの答弁があったが、近年の激しい雨や宅地化を考慮すれば不十分である。市民が危険を正確に把握できるよう「内水氾濫ハザードマップ」を早期作成し、市内の水路のくまなき総点検を強力に進めるべきだが、見解を伺う。	都市創造部長
		(4)　災害時にマニュアル上の担当者が不在であることや、想定外の事態は当然起こり得る。決まった役割を守るだけの形式的な訓練から、あえて「鍵を開ける人がいない」「想定を超える避難者が来た」等のトラブルをその場の住民で主体的に解決する「アドリブ型の避難所運営訓練」へ大きく切り替えるべきと考えるが、市の見解を伺う。	市長
		3　「協働」から「共創」のまちづくりへの転換	
		(1)　「何かやってみたい」と立ち上がっても、団体名義の口座がないと市の支援を受けられないなど、形式的なルールが新しいチャレンジを阻んでいる。実態として、若者をはじめとする市民の芽を摘んでしまっているこの現状を、どう評価・分析しているか伺う。	企画政策室長
		(2)　黒部市地域福祉計画にある計画目標に反し、わずか2年の間にボランティア活動者数が約3割（866人）減少し、不参加理由のトップは「どこで何をやっているか分からない」である。この冷徹なギャップへの認識と、参加のハードルを下げて活動者を増加させるための具体的な方策を伺う。	市民福祉部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	成川正幸 (一問一答方式)	３　「協働」から「共創」のまちづくりへの転換 (3)　現在、一旦立ち止まっている「公募提案型協働事業」等の再構築にあたり、行政が枠組みを決める旧来のスタイルを続けるのか。それとも、市民がフットワーク軽くチャレンジできるよう柔軟な制度へ見直し、市は伴走に徹する「共創」のステージへ舵を切る考えはあるか伺う。 (4)　地区組織の乱立によるその役員を務める地区住民の疲弊を解消し地域の自立を促すため、地区要望のあり方を「共創」へと見直すとともに、組織や会計を一本化する「コミュニティセンター化」に向け、市として強力な制度的支援を行う考えはないか伺う。 (5)　これらを推進するため、形骸化しつつある現行の「協働のまちづくりガイドライン」を見直し、市民の挑戦支援や組織の効率化のプロセスを明記した「共創のまちづくりガイドライン」へとアップデートする考えはないか伺う。	市　長 市　長 市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	松倉孝暁 (一問一答方式)	1　黒部市民病院について	
		(1)　令和8年度診療報酬改定では3.09％の増額改定となり、引き続き自治体病院においては厳しい経営状況が続く。一方で総務省では令和8年度不採算地区中核病院への特別交付税措置の基準額を30％拡充した。自治体病院の経営の一助にする意図と考える。総務省の繰り出し基準額はいくらになるのか伺う。	病院事務局長
		(2)　病院事業運営協議会で示された年度末現金・預金残高13億8千万は黒部市民病院の事業規模からすると懸念がある。今後の設備更新計画など影響がでないのか伺う。	病院長
		(3)　酷暑を想定した設備投資について 院内勤務の看護師が熱中症を煩われた。改善策は先の全員協議会で確認をしたところでありますが患者・医療従事者を守るため毎夏の酷暑を最大値で40°程度までは想定する必要があると考える。現状の空調システムの増強が必要ではないか所見を伺う。	病院事務局長
		(4)　例えば『皮膚・排泄ケア認定看護士』は黒部市民病院には1名勤務されていますがこうした特殊技能を持つ有資格者は複数名いることが望ましいと考えますが、黒部市民病院における認定看護師育成の取り組みと資格取得者への給与への反映について伺う。	病院長
		(5)　医師事務作業補助者の業務範囲拡充について 他病院では医師不足への対応に医師事務作業補助者の業務範囲の拡充を図ったと伺う。この点に関して黒部市民病院での取り組みと所見を伺う。	病院長
		2　市民交流センター『あおーよ』Wi-fi環境について	
		(1)　市民がストレスなく利用できるWi-Fi環境を実現するため、通信速度や接続状況の実態を調査・検証した上で、アクセスポイントの増設や通信回線の高速化など必要な改善を早急に行うべきと考えるが、現状認識と併せて伺う。	企画政策室長
		3　予防医療の推進について	
		(1)　高齢者のRSウイルス感染症について、現在市はどのような認識を持っているのか伺う。	市民福祉部長
		(2)　高齢者のRSウイルス感染症について、市の広報・ホームページ・健康教室などを活用し、市民への正しい情報提供を行うべきと考えるが所見を伺う。	市民福祉部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	松倉孝暁 (一問一答方式)	**３　予防医療の推進について** (3)　高齢者RSウイルスワクチンへの助成の費用対効果の検証と市独自の接種費用助成制度を設けることについて 高齢者のRSウイルス感染症患者の入院費は平均値864000円。ワクチン接種にかかる費用は26000円で仮に半分の補助をするとした場合に必要な市の予算は、接種率を1％で市の65歳以上の人口約12700名として127名×13000円で1651000円の計算。費用対効果からは2名以上で効果が上回るとの計算が成り立つが、高齢者の健康を守る観点からも調査・研究を進めるべきと考えますが所見を伺う。	市長
		４　激甚化する豪雨への対応について (1)　12時間348ミリという千葉豪雨と同規模の豪雨が黒部川上流域で発生した場合、黒部川の治水は対応できるのか伺う。 (2)　避難行動要支援者への対応について 各地でおこる豪雨被害をみるとかなりの短時間でレベル4危険警報、レベル5特別警報に達している状況から避難行動要支援者に対し早めの避難を呼びかけるべきと考える。レベル3警報時点での早めの避難を呼びかけるため、支援者への周知を含め防災行政無線等活用して具体的に注意喚起ができないか所見を伺う。	都市創造部長 防災危機管理統括監
		５　学童保育での弁当対応について (1)　夏休みなどの長期休暇中の学童利用者の弁当に対するニーズは相当強いものがあると考えるが外部の民間事業者と連携の上、各学童保育の現場で利用できるよう体制を整備すべきではないか伺う。	市民福祉部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	長谷川　恵　二 (一括方式)	**1　漁業の在り方について**	
		(1)　漁業の担い手育成に4年間で3千万円ほどの予算が投入されているが、その成果についてどのように受けとめているのか伺う。	産業振興部長
		(2)　黒部市漁業のほぼすべてを担っているくろべ漁業協同組合は大丈夫か非常に心配である。黒部市として漁協の運営に対してどういう関与ができるのか伺う。	産業振興部長
		(3)　漁協の運営を深く心配する漁協組合員から、相談が寄せられました。とりわけ魚の駅生地については経営が成り立っていないとも指摘がありました。これが本当なら大変なことです。まず黒部市の認識を伺う。	産業振興部長
		(4)　私が取り寄せた漁協の決算書を見てみました。私の計算ミスならよいのですが。数字の合わないところがあるようです。このことに対する認識を伺う。	産業振興部長
		(5)　黒部市の漁業再建には外部の力を借りる必要もあるのではないか。石巻市に漁業振興の視察に行った際に、振興策の担い手としてフィッシャーマン・ジャパンという法人が漁業振興のために力を尽くしておられた。一度接触してみてはどうかと思うが考えを伺う。	産業振興部長
		2　上下水道料金の検討委員会が立ち上げられたが、それについていくつかお伺いしたい	
		(1)　前回の大幅な引上げからまだ4年、上下水道料金検討委員会では、まさかまた大幅な引上げとなりそうなのか心配である。まず検討委員会の基本的な方向性を確認したい。黒部市は他市に比べて安いという前置きは不要です。	市　　長
		(2)　新市誕生から20年、いくつもの記念行事が進んでいるが、こと水道料金については分裂状態が続いている。5年ごとの見直しということなら3回はチャンスがあったはずだが。当局がよく言われる市民負担の公平性といった観点から、どう見ていくべきか、今回どうしていくおつもりかお伺いしたい。	都市創造部長
		(3)　水道料金表をよく見てみると、500立米超の使用単価が半値近いが、なにか取り決めでもあるのか。増収を図るとすればここも考える必要があるのではないか。	都市創造部長
		3　災害備蓄用品の配置について	
		(1)　ハザードマップ上では浸水被害地域となる石田公民館倉庫について、各地で豪雨災害が多発する中、この施設は、この位置でよいと考えるのか伺う。	防災危機管理統括監

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	長谷川　恵　二 (一括方式)	３　災害備蓄用品の配置について	
		(2)　避難所となっている小中学校・公民館にベット及びパーティションがセットで置かれていないのはどういう考え方なのか。 また2階においてある避難所では使用時の負担が大変との訴えもある。何か対策は考えられるのか。	防災危機管理統括監
		(3)　今回の熊本地震や、各地の大雨被害の状況から災害対応上、例えば、ハザードマップ上の住民に特別の警報を送る手段など本市の見直すべきところはないか伺う。	防災危機管理統括監
		４　各種市政問題について	
		(1)　新総合福祉会館の建設にかかる要望について伺う。 大布施自治振興会が昨年から市長に、福祉センター・中央児童館の建て替えで、二つ以上の機能を複合化した新総合福祉会館として整備してほしいとの要望書を提出した。 このことに対する考えを伺う。	市　　長
		(2)　生地駅周辺整備についてまた伺うが、生地駅周辺活性化にはもちろん賛成しますが、生地駅舎移転に多額の税金を投入することには、多くの市民が納得できていないと思います。私も税金投入には断固反対いたします。 6月議会で私が指摘した請願駅への全額負担の例は確認されましたか。また、それを生地駅周辺活性化協議会やYKKに伝えられたかを伺う。	市　　長
		(3)　要介護3以上の要介護者で施設入所の待機者は42人いると聞いた。待機者は増えているのか減っているのか。待機者ゼロへの見通しはあるのかを伺う。	市民福祉部長
		(4)　令和8年4月から7月までの4か月間だけで5件もの介護事業所が黒部市で休廃止している。過去3年間で7件からすると急増といえるが、休廃止の原因を教えてほしい。また何か対応策は考えているのかを伺う。	市民福祉部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	宮﨑孝義 (一問一答方式)	1　上水道・簡易水道施設及び水道管の耐震化について	
		(1)　本市の上水道の施設は、中坪、石田犬山、石田岡、生地、計4か所。 簡易水道は宇奈月、愛本、音沢東山、内山、布施山の計5個所と認識しています。 それぞれ、各施設の水源の数、種別、取水能力について伺います。	都市創造部長
		(2)　上水道及び簡易水道について、停電時でも非常用発電設備を用いて取水・配水を継続できる体制になっているのでしょうか。 また、非常用発電設備の燃料を含め、停電時にどの程度の時間、運転を継続できる想定なのか、伺います。	都市創造部長
		(3)　本市の上水道において、どの水道管を基幹管路として位置付けているのでしょうか。 また、上水道における基幹管路について、管路延長は何キロメートルなのか伺います。	都市創造部長
		(4)　現在、本市の上水道における基幹管路の耐震適合率は何%か伺います。併せて、基幹管路のうち、耐震適合している管路延長と、まだ耐震適合していない管路延長は、それぞれ何キロメートルあるのか伺います。	都市創造部長
		(5)　災害時に重要となる施設につながる基幹管路を、優先して耐震化したのか、或いはしているのか伺います。	都市創造部長
		(6)　配水管から各家庭の水道メーターまでの給水管について、維持管理の責任は、市と使用者のどこで区分されているのか伺います。 また、給水管の耐震化ついて、市はどのように考えているのか伺います。	都市創造部長
		(7)　上水道、簡易水道の施設のうち、一つが地震などによって使用できなくなった場合、ほかの施設から給水を補うことは可能か伺います。	都市創造部長
		(8)　上水道、簡易水道における急所施設(水源池や配水場等)の耐震化について、今後どのように取り組んでいくのか伺います。	都市創造部長
		2　石田浜海水浴場について	
		(1)　石田浜海水浴場の今年度の利用者数と過去の利用者数はどのように推移しているのでしょうか伺います。	産業振興部長
		(2)　現在、石田浜海水浴場では、利用者の安全を確保するために、どのような安全対策を講じているのか伺います。	産業振興部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	宮崎孝義 (一問一答方式)	２　石田浜海水浴場について (3)　石田浜海水浴場と周辺の観光・レジャー施設を連携させ、利用者の増加や観光振興につなげていく考えはあるのか伺います。 (4)　市長は過去に石田浜海水浴場を利用されたことがありますか。また、その際の思い出などあれば、お聞かせ下さい。 また、石田浜海水浴場を将来にわたって残し、より多くの方に利用していただける魅力ある海水浴場としていくために、市としてどのように取り組んでいくのか、市長の考えを伺います。	産業振興部長 市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	大辻菊美 (一括方式)	1　認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて	
		(1)　高齢化が進む中で、今後、認知症の人や認知機能の低下が見られる人が増えていくことが考えられる。本市では、現在、認知症と診断されている方、または認知症が疑われる方について、どの程度把握しているのか伺う。また、今後、認知症の人がどの程度増加すると見込んでいるのか市の認識を伺う。	市民福祉部長
		(2)　本市では、認知機能の変化に早期に気づくため、どの様な取り組みを行っているのか。また、認知症の相談窓口について、現在どの程度利用されているのか、相談件数や相談内容の傾向、また、相談から医療や介護など必要な支援につなげる体制について伺う。併せて相談窓口を知らない市民にも情報が届くよう今後どのように周知を強化していくのか伺う。	市民福祉部長
		(3)　現在、市内の認知症カフェがどの程度利用されているのか。また、家族からどのような相談が寄せられているのか伺う。さらに、介護する家族が孤立することなく、必要な時に相談し、休息することのできる支援体制をさらに充実させる必要があると考えるが市の見解を伺う。	市民福祉部長
		(4)　認知機能の低下を防ぐ観点から、現在どの様な取り組みを行っているのか。また、気軽に参加できる「通いの場」や運動、脳トレ、交流などの機会をさらに地域へ広げていく考えについて伺う。	市民福祉部長
		(5)　本市では「認知症サポーター養成講座」や「認知症サポーターステップアップ講座」が行われている。本市における認知症サポーターの養成状況、また、養成されたサポーターの皆さんが、地域の中で実際に活動できる仕組みづくりを今後どの様に進めていくのか。単に「講座を受講して終わり」でなく、見守りや声かけなど、地域の支え合いにつながる取り組みをさらに進めていただきたいと考えるが、市の見解を伺う。	市民福祉部長
		(6)　子どもの頃から認知症について正しく理解し、高齢者を思いやる気持ちを育てるという観点から、小中学校などで認知症サポーター養成講座を行うことについて、市の考えを伺う。	市民福祉部長
		(7)　全国では、認知症への理解を広げるシンボルカラーであるオレンジ色のライトアップやパネル展示、講演会など、さまざまな啓発活動が行なわれている。単にイベントを行うだけでなく、この9月、認知症月間をきっかけとして「認知症は特別な人だけの問題ではなく、誰にとっても身近な問題である」ということを市民に伝えていくことが重要だと考える。本市として、認知症についての市民への啓発をさらに強化する考えはないか伺う。	市民福祉部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	大辻菊美 (一括方式)	1 **認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて** (8) 認知症になった人を「支えられる人」として見るのではなく、地域の一員として、ともに暮らし、ともに地域をつくっていく。そのような黒部市を目指すことが、これからの高齢化が進む中での本市の責任ではないでしょうか。本市は「新しい認知症の考え方」を今後の認知症施策にどのように反映し、認知症になっても本人の希望や意思が尊重され、自分らしく暮らし続けられる地域づくりをどのように進めていくのか、市長の見解を伺う。	市長
		2 **子どもたちが安心して遊べる屋内・屋外の遊び場の整備について** (1) 本市には、天候に左右されず、乳幼児から小学生までの子どもたちが、自由に安心して体を動かせる屋内遊び場が十分ではないと考えるが、市は現状をどのように認識しているのか伺う。	市民福祉部長
		(2) 子育て世代から屋内遊び場を求める声や要望について、本市はこれまでどのように把握しているのか。また、ニーズ調査アンケートなどを実施したことがあるのか伺う。	市民福祉部長
		(3) 本市の姉妹都市である根室市の「わんぱーく」、入善町の「わくわくドーム」、そして魚津市に整備される県の「新川こども施設」など、他自治体の取り組みについて、市はどのように評価しているのか伺う。	市長
		(4) 魚津市に県の施設ができるとしても、子どもたちの健やかな成長と子育て世代への支援、さらには本市の子育て環境の魅力向上という観点から、本市においても、天候に左右されず安心して遊ぶことのできる屋内遊び場の整備について検討していく考えはないのか。また、いきなり新設するのではなく、子育て世代へのニーズ調査、市内公共施設の活用可能性の調査、根室市などの先進事例の視察・研究を行う考えはないのか、伺う。	市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	辻　泰久 (一問一答方式)	１　北方領土問題について	
		(1)　プーチン大統領の択捉島への何の断りもなく突然の訪問、返還を願う関係者の思いを逆なでし、強く怒りを感じました。北海道に次いで2番目に引揚者の多い黒部市の市長としての所感を求めます。	市　長
		(2)　ウクライナ侵攻直後の2022年3月ロシアは対ロ制裁に加わった日本に非友好的だとして北方領土問題を含む平和条約締結交渉の中断を表明しました。北方墓参も途絶え日ロ間の政治対話は4年以上停滞しています。領土問題でお互いの自国の主張を押し通そうとしても解決しないと思います。安部元総理は27回もプーチン大統領と面会しています。政府は、北方領土問題を解決し平和条約を締結することが大事であり、そのことが北方墓参やビザなし交流に結びつくと思います。高市総理大臣や茂木外務大臣も早期にプーチン大統領と面会することが大事であるとおもいます。市長の見解を求めます。	市　長
		(3)　8月6日から8月8日まで根室市を訪問しました。生憎、霧のため納沙布岬から貝殻島は見えませんでした。次回訪問した折に見えますように期待しているところであります。石垣根室市長からは修学旅行の受け入れのために170名収容のホテルの建設計画があるとの話をお聞きしました。以前にも本市の中学生の修学旅行を北方領土問題の理解を深めるために根室方面に行けばとの質問をいたしましたが、答弁は、収容人数の大きなホテルがなく分散になると引率者が大変であること、旅行経費も高くつくとの答弁でした。このような大きなホテルができれば本市の修学旅行も根室方面に行くことが可能になると思います。教育長の見解を求めます。	教育長
		２　公共施設の女性トイレについて	
		(1)　本市の公共施設の女性用と男性用のトイレの現況を伺います。	企画政策室長
		(2)　本市では、コラーレ、セレネなど指定管理者を公募するとのことです。この際、本市の公共施設の女性用トイレを、増設、改修をする考えがないか伺います。	企画政策室長
		３　障がい者の雇用について	
		(1)　本市の障がい者の雇用率は守られているのか伺います。	総務管理部長
		(2)　どの企業でも法定雇用率が守られているのか伺います。	市民福祉部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	辻　泰久 (一問一答方式)	３　障がい者の雇用について (3)　法定雇用率が守られていない場合に罰則があるのか伺います。 (4)　障がいのある人が障がいのない人と同等の機会や待遇を確保するために事業主に義務付けられている「合理的配慮」がなされていない事例があると伺っています。どのような課題があるのか伺います。	市民福祉部長 市民福祉部長
		４　８・８・８婚姻届の概要について (1)　本市の本年1月から6月までの出生数を伺います。 (2)　本市の本年1月から6月までの死亡数から出生数を差し引いた自然増減を伺います。 (3)　8月8日は土曜日でしたが本市の受付の対応を伺います。 (4)　8月8日の婚姻届の届け出状況を伺います。	市民福祉部長 市民福祉部長 市民福祉部長 市民福祉部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	家敷誠貴 (一問一答方式)	**1　中古住宅市場の活性化を好機と捉えた施策について**	
		(1)　移住者や子育て世帯の中古住宅取得・改修に対する支援策の現状はどうか伺う。	都市創造部長
		(2)　今後、空き家バンクの登録数増や取得や改修に対する支援策の拡充等、中古住宅の流通促進や空き家活用をさらに進める考えはあるか伺う。	都市創造部長
		2　宮野運動公園の観光利用について	
		(1)　宮野運動公園の観光利用について、現在どのような考えを持っているのか。また、既存施設の利用状況と課題をどのように認識しているのか伺う。	都市創造部長
		(2)　芝生広場や、野外ステージの利用実績と今後の活用方針(各種イベントや音楽フェス、地域交流事業などへの活用の検討)はどうか伺う。 また、ステージ利用者の利便性向上を図る考えはあるか伺う。	都市創造部長
		(3)　ハイツ宮野の貸出し再開や整備等を図る考えはあるか伺う。	産業振興部長
		3　豪雨災害に対する備えについて	
		(1)　豪雨災害を想定した避難訓練を市が実施予定だが、地区ごとの防災学習会や出前講座の実施状況はどうか伺う。	防災危機管理統括監
		(2)　高齢者や要支援者の避難支援体制は十分であると考えているか伺う。	市民福祉部長
		(3)　今後、豪雨災害への備えとして消防団と連携した訓練や、学習機会を拡充する考えはあるか伺う。	防災危機管理統括監
		4　放課後児童クラブの課題解決について	
		(1)　放課後児童クラブにおける支援員の確保状況と課題、支援員の処遇改善(業務内容の効率化や報酬の見直し)や人材育成についてどのように取り組んでいるのか伺う。	市民福祉部長
		(2)　施設が手狭な状況など、施設面の課題をどのように認識しているか。また、あらたな施設整備や環境改善を進める計画はあるか伺う。	市民福祉部長
		(3)　運営方法について、地域での運営、市営及び民営それぞれのメリット・デメリットをどのように整理し、民間事業者の活用や指定管理制度導入などの運営体制見直しを検討する考えはあるか見解を伺う。	市　　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	古川和幸 (一問一答方式)	**1　富山地方鉄道と公共交通について**	
		(1)　黒部市内外の住民が、富山地鉄本線について、(将来のあり方を含め)自分ごととして考える必要があると思うが市長の見解を伺います。	市長
		(2)　「コンパクト・プラス・ネットワーク」を推進する駅周辺の利活用と公共交通について、市長の見解を伺います。	市長
		2　黒部市内小学校における学校プールの現状と今後のあり方について	
		(1)　今年度の夏休み期間中における各小学校のプール稼働日数はどのようになっているか。又猛暑による水温上昇で利用が制限された日なども含め、9校それぞれの具体的な稼働日数と運営状況について伺います。	教育部長
		(2)　市全体で学校プールにおける年間どれほどの維持管理費用が投入されているのか、直近の過去3ヵ月の実績について伺います。	教育部長
		(3)　黒部市内における学校プールの今後の運用・ビジョンについて、当局の考えを伺います。	教育部長
		3　黒部市内の公立保育所（保育園・認定こども園）における今後の在り方について	
		(1)　現在の市内における保育士不足の現状と保育士確保に向けた取組み状況について伺います。	市民福祉部長
		(2)　多様な保育ニーズへの対応に伴う現場負担について伺います。	市民福祉部長
		(3)　現在の公立保育所及び公立の認定こども園について、施設毎の定員と直近の入所児童の現状について伺います。	市民福祉部長
		(4)　今後における黒部市の公立保育所の施設規模の適正化や統合について、どのように考えているのか伺います。	市長
		4　「ふるさと納税の推進」について	
		(1)　「ふるさと納税推進タスクフォース」の設置目的と構成員について伺います。	市長
		(2)　ふるさと納税額の令和8年の目標金額について伺います。	市長
		(3)　ふるさと納税の増額に向けて、返礼品の拡充と地元事業者への伴走支援の取組状況について伺います。	市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	古川和幸 (一問一答方式)	５　「黒部まちづくりフォーラム」について	
		(1)　「黒部まちづくりフォーラム」の設置理由について市長に伺います。	市長
		(2)　今年度、今後「子育て支援」をテーマとしたフォーラムは、どの程度実施する考えなのか。担当部長に伺います。	市民福祉部長
		(3)　今回実施した「子育て」以外のテーマを考えているのか、市長に伺います。	市長
		(4)　今後、まちづくりフォーラムにおいて、参加者から出た意見をどのように市政運営に反映していくのか、市長に伺います。	市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
10	中野得雄 (一括方式)	**1　くろべの伝統芸能について**	
		(1)　黒部市は県内でも有数の伝統芸能を持つ地区である。現在市内に19の伝統芸能団体が登録されているが当市の今年の団体への支援金について伺う。また、今後、伝統芸能継承を支援すべき助成金の増額についての考えについて併せて伺います。	教育部長
		(2)　現在ほとんどの獅子舞保存会において少子化等による後継者不足が課題となっている。市内に12団体ある獅子舞保存会であるが、市として補助金を交付する以外に課題となっている、後継者の育成・子供達への伝承・団体同士の交流等をどう支援しているのか伺います。	教育部長
		(3)　他市の事例として氷見市では、小学校のクラブ活動に地域の獅子舞保存会が講師として活動し、子供達が地域の獅子舞を実際に学び発表する取り組みがなされていますが、当市としても次の世代につなぐ教育を行っては如何かと思いますが、考えを伺います。	教育部長
		(4)　一度途絶えてしまうといくらお金をかけても取り戻すことが難しくなる地域の郷土芸能を、今後市として次の世代に継承する取り組みについての具体的な考えを伺います。	教育部長
		(5)　黒部市の貴重な郷土芸能を次世代に継承していく為には、市・内外に披露する事により、更に地域の一体感が育まれることが大事だとと考える。そこで、天候や高温対策を心配することなく屋内(コラーレ)で開催し、現行のくろべ踊りも参加出来るイベントを開催し姉妹都市や友好都市も巻き込んだ「くろべ郷土芸能まつり(仮称)」を毎年開催し各々の地域の郷土芸能の活性化と継承・育成事業に繋げては如何かと思いますが考えを伺います。	教育部長
		(6)　先人から継承されてきた「郷土芸能」は、地域の歴史・文化を次世代に継承する重要な財産である。保存会への支援はもとより市民や子供達が「郷土芸能」に触れる機会を設けることが継承に向けた取り組みと考えるが市長の考えを伺います。	市　長
		2　くろべの農業諸課題について	
		(1)　イノシシの被害は農作物に留まらず、田畑の掘り起こし・道路の法面破壊等被害が尋常でない状況であり、人的被害も懸念されているが、市として現在の被害状況をどの様に把握し、どのような危機感を持っているのか伺う。	産業振興部長
		(2)　近年、益々増加している農作物に対する有害鳥獣被害について、以前と同様の予算額では有害鳥獣被害に対応することが難しくなると考える。今後は、今以上に支援制度を拡充し電気柵等設置助成や維持管理費等を捻出することが必要と考えるが当局の考えについて伺う。	産業振興部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
10	中野得雄 (一括方式)	２　くろべの農業諸課題について	
		(3)　ハンターの高齢化・ハンターの減少対策として提案を行った「ガバメントハンター」について、当市が行った取組内容の詳細を伺う。また、これから出没のピークを迎える熊対策として「緊急銃猟」の対応について併せて伺う。	産業振興部長
		(4)　イノシシについては農地だけに出没するのでなく、山林・耕作放棄地・河川を移動し集落に入ってくる。 個々の農家が電気柵設置などで対応することには限界がある。自治会や農業従事者、猟友会、行政が連携して効果があると考えるが当市の考えを伺う。	産業振興部長
		(5)　今後、イノシシ等の有害鳥獣はどんどんと市街地に降りてくる事は明らかである中、以前質問し答弁を頂いた朝日町での有害鳥獣対策について調査研究するとの事であったが、何を調査し何を学び黒部市の施策に何を取り入れようとしているのか具体的に伺います。また、黒部市で出来ない理由が在るとすれば財源なのか地形なのかそれとも人的体制なのかを詳しく伺う。	産業振興部長
		(6)　イノシシに限らず有害鳥獣対策は、猟友会だけに任せたり農家や行政だけに任せても解決できないと考える。現場を知る猟友会・農家・行政が情報共有し同じ方向を向く必要がある。朝日町の取り組みも参考にし「地域一体」となる施策が必要と考えるが市長の考えを伺う。	市　長
		(7)　令和8年度産米について米価の下落が懸念されている中、一方では燃料・農薬・肥料や機械に係るコストが依然として高止まり傾向となっている。当市として黒部の稲作経営にどのような影響が出ると予測しているのか伺う。	市　長
		(8)　今後米価がさらに下落すれば間違いなく黒部市の農業は衰退すると考える。仮に今後米価が下落した場合一時的に支援して終わりでなく、国・県・JA等の関係機関と連携し黒部市の農業を守るべき中長期的な支援についてどの様に考えているのか伺う。	市　長

〇一括方式とは
　議員が質問項目すべてについて一括して質問し、市長や各部局長が一括して答弁する方式

〇一問一答方式とは
　議員が質問項目一問ごと（小項目）に質問し、市長や各部局長がその都度答弁する方式